

2024年1月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社  
 コード番号 9009 URL <https://www.keisei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・IR課長 (氏名) 浅岡 祐介  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 047-712-7100

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	222,614	19.9	23,867	181.4	45,590	124.3	35,989	56.4
2023年3月期第3四半期	185,718	15.9	8,480	—	20,322	—	23,017	—

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 39,272百万円 (58.2%) 2023年3月期第3四半期 24,817百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	214.89	—
2023年3月期第3四半期	138.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,004,042	445,956	42.7
2023年3月期	965,573	410,945	40.9

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 428,734百万円 2023年3月期 394,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.50	—	11.50	20.00
2024年3月期	—	13.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	18.9	25,000	144.4	47,200	76.4	37,800	40.4	225.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	172,411,185 株	2023年3月期	172,411,185 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	4,929,226 株	2023年3月期	4,928,374 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	167,482,347 株	2023年3月期3Q	166,235,421 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期決算補足説明資料は、当四半期決算短信に添付しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P6
四半期連結損益計算書 .....	P6
四半期連結包括利益計算書 .....	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P8
(セグメント情報) .....	P8
3. 四半期決算補足説明資料 .....	P9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行し、企業収益の改善や個人消費の持ち直しがみられるものの、雇用環境の変化に加え、円安や物価上昇の影響もあり、緩やかな回復となりました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画「D1プラン」（2022～2024年度）において、「コロナ禍による低迷から成長軌道へと回帰するとともに、長期ビジョン実現に向けた経営推進体制を整備する」を中期経営目標として掲げ、諸施策を推進してまいりました。

また、2025年4月1日を効力発生日とし、当社を存続会社、新京成電鉄株式会社を消滅会社とする合併契約を10月31日付で締結いたしました。

以上の結果、営業収益は2,226億1千4百万円（前年同期比19.9%増）となり、営業利益は238億6千7百万円（前年同期比181.4%増）となりました。経常利益は、455億9千万円（前年同期比124.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は359億8千9百万円（前年同期比56.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

## &lt;運輸業&gt;

鉄道事業では、「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し、ホームドア等の整備を推進するため、同制度に基づく料金設定及び整備等計画を定め、国土交通省へ届出を行い、本年3月の料金收受開始に向け準備を進めております。安全輸送確保の取り組みとして、異常時対応等のさらなる迅速化を図るため、4月よりデジタル方式の列車無線へ完全移行したほか、押上駅ホームドア整備を推進し、10月より順次供用を開始いたしました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化事業において、京成立石駅仮駅舎新設工事を推進し改札口の切替を実施したほか、本線荒川橋梁架替事業等、各種工事を推進いたしました。

営業面では、11月にダイヤ改正を実施し、LCC等夜間到着便をご利用のお客様の利便性向上のため、成田空港を深夜時間帯に出発するスカイライナーを1本増発いたしました。また、新京成電鉄株式会社において、10月に運賃改定を実施いたしました。さらに、海外旅行博への出展による訪日外国人旅客の誘致等、海外プロモーションの強化を実施したほか、中国最大のSNSであるWeChatを用いたスカイライナーのチケット購入を可能とするなど、海外における営業強化に取り組みしました。このほか、「スカイライナーご利用4500万人達成記念式典」を開催いたしました。

バス事業では、高速バス路線において、成田空港発着の路線を中心に減便していた路線の運行を再開したほか、繁忙期等において臨時便の運行を積極的に行うなど、需要の取り込みを図りました。また、ミチノテラス豊洲（ラビスタ東京ベイ）～羽田空港間で新規路線の運行を開始いたしました。一般乗合バス路線においては、関東鉄道株式会社において、グループのバスとシェアサイクルをご利用いただける「関鉄グループバス・関鉄 Pedal 1日乗車券」を発売し、利用促進を図ったほか、需要の変化に応じたダイヤ改正等を実施いたしました。

タクシー事業では、回復した需要の着実な取り込みを図りました。また、京成タクシー市川株式会社及び株式会社舞浜リゾートキャブにおいて、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みとして、EV（電気自動車）車両を導入するなど、各種施策を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は1,338億2千万円（前年同期比25.0%増）となり、営業利益は129億8千8百万円（前年同期比605.8%増）となりました。

#### <流通業>

ストア業では、株式会社京成ストアにおいて、フランチャイズ契約に基づき「業務スーパー八街店」及び「業務スーパー東松戸店」をオープンしたほか、一部店舗において太陽光発電設備を導入いたしました。また、株式会社コミュニティ京成において、「ファミリーマート印旛日本医大駅店」をオープンするなど収益の拡大に努めました。

その他流通業では、京成バラ園芸株式会社において、「ハーベストローズガーデン」等のイベントを実施したほか、周辺の交通機関と連携した「京成ローズきっぷ」の企画により、集客に努めました。

以上の結果、営業収益は417億6千7百万円（前年同期比10.7%増）となり、営業利益は2億6千万円（前年同期は営業損失4億6千2百万円）となりました。

#### <不動産業>

不動産賃貸業では、足立区千住河原町において賃貸住宅の建設工事を推進したほか、葛飾区金町、船橋市本町、柏市末広町の賃貸施設及び沿線都内エリアの賃貸住宅18物件を取得いたしました。

不動産販売業では、中高層住宅「サングランデ千葉 都賀テラス」の全戸引き渡しを完了したほか、来年度に引き渡し予定の中高層住宅「プレミスト千葉公園」を販売いたしました。また、中高層住宅予定地として、成田市東町の土地を取得いたしました。

以上の結果、営業収益は261億5千4百万円（前年同期比24.0%増）となり、営業利益は89億8千万円（前年同期比21.4%増）となりました。

#### <レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業では、ホテル・レストラン等の施設において回復した需要の着実な取り込みを図りました。また、京成ホテルミラマーレにおいて、営業運転を終了した鉄道車両の一部を再利用し、コンセプトルームを新設するなど新規顧客の獲得に努めました。さらに、京成トラベルサービス株式会社において、グループのバス会社と共に千葉商科大学の学生と協働で企画したツアーを実施するなど、多様な旅行商品の企画・催行により、収益の確保に努めました。このほか、業務効率化等を目的に、京成グループ各社の定型業務等について株式会社We京成に集約いたしました。

以上の結果、営業収益は123億6千7百万円（前年同期比35.3%増）となり、営業利益は4億7千6百万円（前年同期は営業損失7億2千万円）となりました。

#### <建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事等を実施したほか、当社グループ外への積極的な営業活動により、受注拡大に努めました。

以上の結果、営業収益は211億8千万円（前年同期比8.6%増）となり、営業利益は9億6千4百万円（前年同期比91.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比384億6千8百万円（4.0%）増の1兆40億4千2百万円となりました。これは、持分法適用会社株式の増加により、「投資有価証券」が増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比34億5千8百万円（0.6%）増の5,580億8千5百万円となりました。これは、有利子負債が増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比350億1千万円（8.5%）増の4,459億5千6百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想については、第3四半期の業績を踏まえ検討した結果、2023年10月31日に公表した数値を据え置いております。

今後の動向を踏まえ、連結業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,607	46,085
受取手形、売掛金及び契約資産	28,445	27,452
分譲土地建物	6,224	6,925
商品	2,246	2,592
仕掛品	168	181
原材料及び貯蔵品	4,085	4,318
その他	14,420	14,575
貸倒引当金	△36	△35
流動資産合計	90,160	102,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	321,354	319,915
機械装置及び運搬具（純額）	30,780	29,674
土地	207,127	215,950
リース資産（純額）	29,506	28,994
建設仮勘定	42,636	47,204
その他（純額）	4,168	3,592
有形固定資産合計	635,573	645,331
無形固定資産		
リース資産	1,161	1,179
その他	11,934	10,834
無形固定資産合計	13,095	12,013
投資その他の資産		
投資有価証券	202,892	223,490
長期貸付金	160	188
退職給付に係る資産	178	177
繰延税金資産	18,987	15,897
その他	4,219	4,504
貸倒引当金	△183	△181
投資その他の資産合計	226,256	244,077
固定資産合計	874,925	901,421
繰延資産	486	523
資産合計	965,573	1,004,042

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,723	18,246
短期借入金	55,986	67,681
コマーシャル・ペーパー	—	9,000
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
リース債務	4,985	4,831
未払法人税等	2,504	3,523
賞与引当金	3,954	2,025
その他	74,483	69,963
流動負債合計	182,638	185,272
固定負債		
社債	110,450	120,450
長期借入金	148,431	140,332
鉄道・運輸機構長期未払金	36,710	35,127
リース債務	19,964	19,893
繰延税金負債	2,128	2,354
退職給付に係る負債	39,784	40,067
その他	14,519	14,587
固定負債合計	371,989	372,812
負債合計	554,627	558,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	34,396	34,404
利益剰余金	335,790	367,641
自己株式	△13,641	△13,645
株主資本合計	393,350	425,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,537	4,416
退職給付に係る調整累計額	△975	△886
その他の包括利益累計額合計	1,562	3,530
非支配株主持分	16,033	17,221
純資産合計	410,945	445,956
負債純資産合計	965,573	1,004,042

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
営業収益	185,718	222,614
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	144,692	162,447
販売費及び一般管理費	32,545	36,300
営業費合計	177,238	198,747
営業利益	8,480	23,867
営業外収益		
受取利息	182	230
受取配当金	214	252
持分法による投資利益	13,016	21,612
雇用調整助成金	245	—
雑収入	1,745	2,106
営業外収益合計	15,404	24,200
営業外費用		
支払利息	1,811	1,922
助成金返還損	1,223	—
雑支出	527	554
営業外費用合計	3,561	2,477
経常利益	20,322	45,590
特別利益		
工事負担金等受入額	354	290
固定資産売却益	55	112
負ののれん発生益	9,214	—
その他	231	40
特別利益合計	9,856	443
特別損失		
固定資産除却損	279	229
固定資産圧縮損	325	201
減損損失	7	165
段階取得に係る差損	1,470	—
その他	10	94
特別損失合計	2,093	690
税金等調整前四半期純利益	28,085	45,343
法人税、住民税及び事業税	2,175	5,381
法人税等調整額	2,034	2,663
法人税等合計	4,209	8,044
四半期純利益	23,875	37,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	858	1,309
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,017	35,989

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	23,875	37,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	721	1,328
退職給付に係る調整額	308	139
持分法適用会社に対する持分相当額	△89	506
その他の包括利益合計	941	1,974
四半期包括利益	24,817	39,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,915	37,957
非支配株主に係る四半期包括利益	902	1,315

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	106,621	37,310	16,300	7,409	14,283	3,793	185,718	—	185,718
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	466	411	4,790	1,732	5,215	2,659	15,276	△15,276	—
計	107,087	37,722	21,091	9,141	19,499	6,452	200,995	△15,276	185,718
セグメント利益 又は損失(△)	1,840	△462	7,394	△720	503	139	8,694	△213	8,480

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、子会社株式の取得関連費用、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	133,214	41,398	20,624	9,550	14,051	3,775	222,614	—	222,614
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	605	369	5,529	2,817	7,129	3,143	19,594	△19,594	—
計	133,820	41,767	26,154	12,367	21,180	6,918	242,209	△19,594	222,614
セグメント利益	12,988	260	8,980	476	964	223	23,894	△26	23,867

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 四半期決算補足説明資料

## ■連結損益計算書

・移動需要の回復により、増収増益  
 ・新京成電鉄株式会社連結子会社化影響 営業収益: +100億円 営業利益: +11億円

単位:百万円、%		2022.3Q 実績	2023.3Q 実績	増減	率
運輸業	営業収益	107,087	<b>133,820</b>	26,733	25.0
	営業利益	1,840	<b>12,988</b>	11,148	605.8
流通業	営業収益	37,722	<b>41,767</b>	4,045	10.7
	営業利益	△462	<b>260</b>	722	-
不動産業	営業収益	21,091	<b>26,154</b>	5,062	24.0
	営業利益	7,394	<b>8,980</b>	1,585	21.4
レジャー・サービス業	営業収益	9,141	<b>12,367</b>	3,225	35.3
	営業利益	△720	<b>476</b>	1,197	-
建設業	営業収益	19,499	<b>21,180</b>	1,680	8.6
	営業利益	503	<b>964</b>	461	91.7
その他の事業	営業収益	6,452	<b>6,918</b>	466	7.2
	営業利益	139	<b>223</b>	84	60.9
小計	営業収益	200,995	<b>242,209</b>	41,213	20.5
	営業利益	8,694	<b>23,894</b>	15,199	174.8
連結修正	営業収益	△15,276	<b>△19,594</b>	△4,318	-
	営業利益	△213	<b>△26</b>	186	-
連結	営業収益	185,718	<b>222,614</b>	36,895	19.9
	営業利益	8,480	<b>23,867</b>	15,386	181.4
営業外収益		15,404	<b>24,200</b>	8,796	57.1
営業外費用		3,561	<b>2,477</b>	△1,084	△30.4
経常利益		20,322	<b>45,590</b>	25,267	124.3
特別利益		9,856	<b>443</b>	△9,412	△95.5
特別損失		2,093	<b>690</b>	△1,402	△67.0
税金等調整前四半期純利益		28,085	<b>45,343</b>	17,257	61.4
法人税	法人税等	2,175	<b>5,381</b>	3,206	147.4
	同調整額	2,034	<b>2,663</b>	629	30.9
	計	4,209	<b>8,044</b>	3,835	91.1
四半期純利益		23,875	<b>37,298</b>	13,422	56.2
非支配株主に帰属する四半期純利益		858	<b>1,309</b>	450	52.5
親会社株主に帰属する四半期純利益		23,017	<b>35,989</b>	12,971	56.4

## 営業外収益

持分法による投資利益

13,016

**21,612**

## 特別利益

負ののれん発生益

9,214

-

## ■主要セグメントの内訳

### ・運輸業

単位:百万円、%		2022.3Q 実績	2023.3Q 実績	増減	率
鉄道事業	営業収益	51,429	<b>67,880</b>	16,450	32.0
	営業利益	654	<b>9,294</b>	8,640	-
バス事業	営業収益	34,827	<b>41,847</b>	7,020	20.2
	営業利益	788	<b>2,881</b>	2,092	265.3
タクシー事業	営業収益	20,830	<b>24,093</b>	3,262	15.7
	営業利益	396	<b>812</b>	415	104.7
運輸業	営業収益	107,087	<b>133,820</b>	26,733	25.0
	営業利益	1,840	<b>12,988</b>	11,148	605.8

### ・流通業

単位:百万円、%		2022.3Q 実績	2023.3Q 実績	増減	率
ストア業	営業収益	26,061	<b>30,473</b>	4,411	16.9
	営業利益	△ 188	<b>337</b>	525	-
百貨店業	営業収益	7,614	<b>7,098</b>	△ 516	△6.8
	営業利益	△ 338	<b>△ 222</b>	115	-
その他	営業収益	4,045	<b>4,195</b>	149	3.7
	営業利益	64	<b>146</b>	81	127.1
流通業	営業収益	37,722	<b>41,767</b>	4,045	10.7
	営業利益	△ 462	<b>260</b>	722	-

### ・不動産業

単位:百万円、%		2022.3Q 実績	2023.3Q 実績	増減	率
賃貸業	営業収益	16,347	<b>19,204</b>	2,857	17.5
	営業利益	7,141	<b>8,326</b>	1,185	16.6
販売業	営業収益	1,479	<b>3,252</b>	1,772	119.8
	営業利益	61	<b>332</b>	270	438.8
管理業	営業収益	3,264	<b>3,697</b>	432	13.2
	営業利益	191	<b>320</b>	129	67.8
不動産業	営業収益	21,091	<b>26,154</b>	5,062	24.0
	営業利益	7,394	<b>8,980</b>	1,585	21.4

## ■鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

単位:千人、百万円、%		2022.3Q 実績	2023.3Q 実績	増減	率
輸送人員	定期	110,238	<b>116,445</b>	6,207	5.6
	定期外	78,282	<b>90,591</b>	12,309	15.7
	計	188,520	<b>207,036</b>	18,516	9.8
	うち成田空港発着	(9,515)	<b>(15,835)</b>	(6,320)	(66.4)
	うち有料特急	(2,367)	<b>(5,052)</b>	(2,685)	(113.4)
旅客運輸収入	定期	13,226	<b>13,949</b>	722	5.5
	定期外	24,094	<b>33,958</b>	9,863	40.9
	計	37,321	<b>47,907</b>	10,586	28.4
	うち成田空港発着	(8,531)	<b>(16,917)</b>	(8,385)	(98.3)
	うち有料特急	(2,277)	<b>(5,066)</b>	(2,789)	(122.5)

## [参考] 2019年度との比較

単位:千人、百万円、%		2019.3Q 実績	2023.3Q 実績	増減	率
輸送人員	定期	133,902	<b>116,445</b>	△ 17,457	△13.0
	定期外	92,400	<b>90,591</b>	△ 1,809	△2.0
	計	226,302	<b>207,036</b>	△ 19,266	△8.5
	うち成田空港発着	(17,143)	<b>(15,835)</b>	(△1,308)	(△7.6)
	うち有料特急	(4,887)	<b>(5,052)</b>	(165)	(3.4)
旅客運輸収入	定期	16,561	<b>13,949</b>	△ 2,612	△15.8
	定期外	34,255	<b>33,958</b>	△ 297	△0.9
	計	50,817	<b>47,907</b>	△ 2,909	△5.7
	うち成田空港発着	(16,945)	<b>(16,917)</b>	(△27)	(△0.2)
	うち有料特急	(4,696)	<b>(5,066)</b>	(370)	(7.9)